

農業委員会だより



でんがく
野中の田楽「ササラ踊り」
おど
(弥栄町野中)京都府無形民俗文化財

五穀豊穡を祈る行事から始まった神事芸能。田楽には「飛び開き」「ハグクミ」「ササラ踊り」
て おど「手踊り」「おうぎ扇の舞」の五つの踊りがあります。

写真提供：藤原利昭さん(野中)

目次

2~3P **農を語る** 今井 一さん(弥栄町黒部)

4~5P **京丹後市農業施策に対する建議書の提出**

6P **がんばってます!!** 川戸和子さん
長寿食のおばaちゃん食堂 (丹後町此代)

7P **利用権設定における賃借料のお知らせ**

8P **京丹後アグリ瓦版**

9P **京丹後紀行「円頓寺の仏像たち」**

10P **長寿ランチ**



経営の考え方としては、収益がいくらではなく、手元にいくら残るかを基本としています。売り上げが高くて経費が多ければ何も

〔販売方法と作目選定〕

両親を手伝うところから水稲4.2ha、採種大根（露地）0.6ha、大カブ0.3haを始めました。その間、甘藷や球根（スイセン）など他にも数品目を栽培しましたが、労働力や環境条件の移り変わりとともに、現在の経営内容となりました。

また、自営業である農家は自ら計画し、実践しなければ始まりませんが、必ずしも頑張ったり努力をしたからと言って結果が得られないのも農業です。特に、自然（天

「先輩として後継者に思いつく」
私が就農した頃は、唯一、無利子の融資制度があったくらいですが、今は農業後継者に対し、助成金など種々な支援制度が用意されています。しかし、目の前の対策に、ただ飛びつくのではなく、援助対策が無くなった数年後を見据えた経営を目指してほしいです。

なりません。特に経営の中で最も大きい農業機械等の設備投資については経営内容に見合う物を慎重に買うよう心掛けています。
また、農家は直接消費者と対峙することで消費者の声を聞いて喜びだと言う人もいますが、それはそれで大事なことです。しかし、私の経営の中では労働力に限りがあるため、一部の米は消費者に直接届けているものの、栽培することに専念してJAなどに出荷しています。それとともに野菜の市場出荷は相場に左右されるため、ある程度計算ができる契約栽培に取り組んでいます。

そこで考えられることは、同じ問題を抱える農家と共に集落営農、もしくは法人組織などを作り、地域の農地を守る基礎づくりをし、その中に将来のリーダーとなる後継者を呼び込みたいのです。そして、農業の多面的機能である環境保全、住みよい地域づくりを次世代に繋げたいです。

「これからの夢」
もともと、脱サラした時の決意として、同世代のサラリーマン定年までは頑張ろうと思って始めたものの、間もなくその年に近づいています。いきなりやめるわけではないですが、私には今のところ後継者がいないため、問題となるのが、自作地も含む多くの借地です。

候）に左右されることは当たり前かもしれませんが。ただ単に、農業は自然の素晴らしい環境の下でできる仕事だからという考えではどうかと思います。やるからには同世代のサラリーマン並以上は所得を得て、次に続く後継者の見本となるような経営に取り組んでほしいです。さらにサラリーマン以上に地域に駆け込むことは大事ですよ。

全国農業新聞を購読してみませんか？

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

全国農業新聞は公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。「週刊」ということから日々の報道には限界がありますが、むしろ週刊の時間を活かし、大切な情報をわかりやすくまとめています。

また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。購読の申込みは京丹後市農業委員会へお気軽に連絡ください。

お知らせ 平成27年4月から購読料が変更されています。
週刊 金曜日発行 月700円、年8,400円（消費税込み）



振り返れば10年勤めた旧弥栄町農協を退職し、農業を始めて28年、実質の経営者になって23年が経ちました。

農業を始めて
今井一さん (58)

（弥栄町黒部）

もともと専業農家であったため子供の頃から当たり前のよう「よく手伝った」と言うより、「手伝わされた」という印象が強かったため、農業を職業としては考えていませんでした。
しかし、きっかけは両親が高齢と共に経営規模の縮小を言い出し、その時、周りを見れば水田農業中心であった当地域も国営畑の開発が始まり、農業経営の型も変わろうとしていました。もともと旧農協で地域の農業を見てきた私にとって、自分ならこんな農業を営んでみたいとの思いも膨らみ、

〔経営規模〕

- 水 稲 11.6ha (内 加工米2.2ha)
- 加工用大カブ 1.2ha
- 加工用大根 0.6ha
- 採種甘藍(ハウス) 0.1ha

平成28年度

京丹後市農業施策に対する建議書の提出



市長へ建議書を手渡す梅田会長・吉岡職務代理・金久農政部長

1 野生鳥獣被害対策の強化について

市内では、水稻を中心として国営開発農地、海岸沿いの砂丘畑、梨を中心とした果樹栽培等多様な農業が営まれています。猪、鹿、熊、猿、カラス等、有害鳥獣による被害も多様となっており、全市域的に防護対策なしには農業生産ができない状態となっています。特に、熊や猿においては、農産物への被害だけでなく人への危害も危惧されます。

京都府では、熊は保護動物に指定されており捕獲が禁止されています。また、猿についても捕獲頭数が厳しく制限されていますが、農業被害の増加と耕作意欲の減退に及ぼす影響は甚大であり、今や防御のみで被害を減少させることは非常に困難となっています。これ以上の被害を避けるため、積極的な駆除と処理体制の整備を講じられたい。

- (1) 積極的な駆除を進めるため、狩猟免許取得の支援等、捕獲員の確保強化。
- (2) 隣接自治体と連携した広域的な被害防除の取り組みの更なる強化。
- (3) 捕獲個体の処理体制の整備強化。(食肉用処理体制の強化及び食肉不適切個体の処分体制の強化)
- (4) 防護柵等設置への支援強化。
- (5) 人と野生生物を隔てるバッファゾーンの設定・維持管理についての支援。

農業委員会では市内の農業振興施策が実効あるものとなるべく議論を重ね、10月22日に平成28年度農業関係予算及び農業施策に反映されることを願い、農業委員会等に関する法律第6条第3項に基づき建議書を中山市長へ提出しました。

2 優良農地の確保と有効利用について

- (1) 耕作放棄地発生防止のため総合的な対策の強化。
- (2) 「中山間地域等直接支払制度」・「多面的機能支払交付金事業」など、要件に該当する全地域が取り組めるよう行政の指導・事務的支援の強化。
- (3) 京力農場プラン(人・農地プラン)の推進のため、集落への指導体制の強化。
- (4) 農用地利用集積を進めるに当たって、農地中間管理機構を利用した事業推進。
- (5) 地域の実情に則した多様な圃場条件整備についての支援。

3 担い手対策について

丹後国営開発農地を基盤とした農業の担い手を育成すべく平成25年度から始まった「丹後農業実践型学舎」は、昨年度末第一期生が終了し、独立した営農が始まっています。

しかしながら、農業を取り巻く環境は依然厳しいものがあり、新規就農者にとっては尚のこと、資金をはじめ、技術面・生活面・精神面での総合的な支援が必要です。

また、担い手対策は、新規就農者対策だけでは不十分であり、既存農家の後継者を育成・支援する施策も併せて講じられたい。

- (1) 農業経営者会議など農業者の組織への更なる支援。
- (2) 新規就農者及び農家後継者への就農支援対策の強化。
- (3) 集落営農組織の体制強化への支援・集落法人立ち上げへの支援。
- (4) 営農支援に関わる施策・補助事業等の情報提供の更なる充実化。
- (5) 学舎修了生への指導・相談体制の充実。



若狭ジビエ工房にて食肉加工処理の説明を受けました。

私も猟友会の一員ですが、農業委員会ではたびたび問題にしている獣害対策、処理、処分の方でこのように京丹後市でも作ることが求められていることを実感した有意義な視察であった。

谷口 光 委員

町、おおい町、高浜町)で5年がかりで作った施設は、大きなものでした。

約6億円かけたこの施設は、焼却炉1基、2日に一度、50〜60頭を焼却すること。バーナーで5時間1000℃の灯油を使う。800〜900度、けむり、二オイは出ない。4年間一件の苦情もない。処理場への持込みは、9時〜16時30分、近隣町からは直接持込み、他4市町は2tの保冷車で搬入。獣の死骸を運ぶ際、人家のそばを通らないよう、800mの専用道路もついています。

委託を受けた責任者の方は、「365日無休でやっています。しかし、処分する量は、年々増え、昨年、9、913頭(シカ・イノシシ他)で、現在、生まれる量と処分する量が同じくらい。猟師になる人も少なく大変です」と後継者が育っていない実状を話されました。

食肉処理加工施設では、血ぬきなど処理の仕方を説明、料理レシピをはじめ、食肉の価格表などきめ細かい内容が示され、ネットなど通じ販売がされていました。

4 営農支援について

水田農業対策について

経営所得安定対策が継続されるようにご尽力をお願いするとともに、売れる米づくりと、加工米等、生産調整における多様な米づくり及び転作作物の産地化育成に向けても推進をお願いしたい。

- (1) 「京丹後市地域農業再生協議会」にて、引き続き、水稻を含めた産地化支援対策を講じていただきたい。
- (2) 特別栽培米はじめ、売れる米づくり、良食味米生産拡大に積極的な支援をお願いしたい。
- (3) 酒米・加工米生産の安定化対策を講じるとともに、現在の転作作物による産地維持のための総合的な対策を講じられたい。

丹後国営開発農地対策について

国営開発農地の営農維持のため、関係機関と連携し、引き続き支援策を講じていただきたい。

- (1) 国営開発農地の利用権設定の更新が順調に進むよう取り組んでいただきたい。
- (2) 現在の営農作目への支援及び土地利用型の有望な作物の導入対策を講じられたい。
- (3) 国営開発農地に設置されている農業用施設の更新及び改良を図られたい。

京丹後ブランド品生産のあり方と流通対策について

市内の農産物について様々なメディアに取り上げられ、消費者の関心や評価は高まっていますが、今後、ブランド産地として発展するためには、農家を組織化し、安定した生産・供給体制を確立する必要があります。そのためには、関係機関が連携して産地化の取り組みを進める必要があります。

- (1) 各種農産物の数量把握の取組みを強化されたい。
- (2) 「特A」評価を継続獲得するために、JAを中心として、米の生産指導及び生産組織の更なる連携強化を図られたい。
- (3) 市内産農産物をブランド化するには、品質の向上とともに安定した生産・供給体制の確立が不可欠であり、JAを中心とした生産組織の連携強化が重要です。そのためには、市とJAの連携を一層強化し市内ブランドの確立のための施策を推進されたい。
- (4) 農産物販売について行政によるPRの強化など対策を講じられたい。

5 循環型農業の取り組みについて

- (1) バイオマス液肥の有効利用についてさらなる実証を積み重ね、「環のちから」のPRIに努め、市民の理解を得ていただきたい。
- (2) 京丹後市内で生産される畜産農家の堆肥を市内で有効に還元する

方策を確立されたい。

- (3) 国営開発農地の土作りに対して支援をしていただきたい。
- (4) コウノトリが生息し続けることができる自然にやさしい農法の普及拡大に努められたい。

6 地産地消の推進について

- (1) 京丹後市内産の農水産物の学校給食での積極的な利用をお願いしたい。
- (2) 地場産品を地元で販売する取り組みへの積極的な支援をお願いしたい。
- (3) 食育基本法を積極的に活用し、地元の農水産物を食べる伝統的な日本型食生活の良さを次世代に伝える活動を推進していただきたい。

7 農業委員会の体制強化について

平成21年に農地法の抜本改正が行われ、農地の利用状況調査等の事務の増加など、農業委員会の日常業務は非常に多忙となっています。また、先の国会で農業委員会に関する法律が改正され、平成28年度から農業委員会の体制や業務が大きく変化することとなりました。このことにより、農業委員にとっても農業委員会事務局にとっても、新たな業務運営の確立を求められています。

については、円滑な業務遂行のために、事務局の体制強化について京丹後市のさらなる支援を図られたい。

8 TPP交渉について

平成25年3月15日、安倍内閣総理大臣よりTPP交渉参加表明がなされました。日本は、農業分野では、重要5品目(米・麦・牛肉・豚肉・乳製品・甘味資源)の関税撤廃除外が主な交渉課題となっていますが、TPPは農業に限らず我が国の経済・社会システムを大きく変える可能性のあるルールづくりであるにもかかわらず、交渉の内容自体が明らかにされず、国民全体で議論し判断するための情報公開はほとんどなっていないままとなっています。

このような中、本年10月に開催された関係閣僚会議で大筋合意がなされたとの発表があり、日本政府は農業分野で大きく譲歩したとも伝えられています。今後は、関係国の国内手続きを経て協定を発効させる手順となっています。現状では合意の内容について詳細が明らかにしていません。

については、今後のスケジュールにおいて、国会での十分な審議を確保する中で、国会決議を踏まえた議論を進めることを求めるとともに、その過程において、国益を損なうと判断される場合は協定からの離脱も辞さないこと。また、今回の合意に基づく協定を締結することとなった場合は、現在にもまして、健全に維持できる農業が続けられるようなきめ細かな施策を講じるよう政府に働きかけていただきたい。

管内の農地パトロールを実施しました!!

今年度も平成27年8月21日、農業委員により管内の農地パトロールを一斉に行いました。このパトロールでは、農地法に基づく申請案件(3条・4条・5条・形状変更)が申請どおりの計画で利用されているか、違法転用が行われていないかなど確認することにも、耕作放棄地の再生事業に取り組んでいる畑を確認しました。今後もしっかりと引き続き違法な開発や利用が行われますので、皆様の協力をお願いします。

再生中の農地を確認する委員
再生後はにんくの作付が計画されています。

有害鳥獣処理施設を視察して

今回の視察先は福井県①JA若狭ふれあい市場(農産物直売所)、②嶺南地域有害鳥獣処理・加工施設(有害鳥獣の焼却施設及び食肉処理加工施設)。

視察のメインは有害鳥獣焼却処理・食肉処理加工施設「若狭ジビエ工房」です。6市町(敦賀市、小浜市、美浜町、若狭町、おおい町、高浜町)で5年がかりで作った施設は、大きなものでした。



焼却炉の説明を受けました。

利用権設定における賃借料のお知らせ

平成26年1月から12月までに締結(公告)された賃借権における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりとなっています。
この賃借料は、あくまで目安です。貸し手と借り手が十分に話し合い、お互いが納得できる額で決定して下さい。

1 田(水稻)の部

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
峰山町	7,500	15,600	3,200	34	
大宮町	7,800	13,000	4,300	20	
網野町	6,500	6,500	6,500	17	
丹後町	7,900	20,000	5,200	20	
弥栄町	7,600	12,600	2,800	59	
久美浜町	9,200	15,000	5,000	418	
(参考)京丹後市平均	8,700			568	

2 畑の部

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
峰山町	15,000	15,000	15,000	79	国営農地
大宮町	9,600	10,000	4,300	35	一般畑 国営農地
網野町	12,900	19,700	11,700	68	一般畑 国営農地
丹後町	14,000	15,000	10,000	31	国営農地
弥栄町	15,000	15,000	15,000	309	国営農地
久美浜町	14,800	15,000	10,000	84	一般畑 国営農地
(参考)京丹後市平均	14,300			606	

※農業委員会では、現在契約中で終期を迎える利用権の設定に係る終期通知書を耕作者に送付しています。
お手元に通知書が届きましたら、引き続き利用権設定の更新等にご協力ください。

事務局からのお知らせ

選挙人名簿登録申請は不要になりました

平成27年9月4日に農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員の選出方法が公選制から市長による選任制に変更となりました。
これに伴い、毎年1月に提出していただいていた農業委員会委員選挙人名簿は不要となりましたのでお知らせします。

不耕作地に係る地主への意向調査について

農業委員会では毎年市内全農地の利用状況調査を実施しています。この調査により、不作付地で荒廃している農地(トラクター等で耕耘すれば作付が可能な状態に戻る農地)として判断したところについては、地主さん宛(相続が発生している場合はその相続人)に今後の農地利用についてのアンケートを送付していますので、ご協力をお願いします。

がんばってます!!

長寿食のおばaちゃん食堂

レストス城 代表 川戸 和子さん (丹後町此代)

丹後町の道の駅でんきてんき 丹後から車で6分、犬ヶ崎トンネルを抜けると日本海の素晴らしい景色が目の前に広がります。まさにその絶景の中に食堂があるという感じです。
代表の川戸和子さんにお話を伺いました。
以前から何か地域のお役にたきたい、特に高齢社会の中、お年寄りのことが気になられていました。地域、お年寄りを元気にしてあげたいと考えた末、まずは食事を通じて身体を元気にしてあげたいと思い、数年前より閉店となっていたこのレストランを借りて始められました。
現在、地区のおばちゃん仲間

7人で頑張っておられますが、お客様の接待に慣れない事もあり大変な所です。でも、料理は、大好評で食を通じて、元気に長生きということ、地元で採れた身体にいい食材をふんだんに使ったランチを提供されておられます。まさに地産地消です。
これらを化学調味料を使わず自然の味付けで、野菜中心の本当に身体にやさしいメニューを提供されています。またこの地元の食材をやさしい味付けで、週2回地域のお年寄りの方へも宅配されており大変喜ばれています。
私も長寿ランチを頂きました。食べていて本当に食材が新鮮で、野菜のおいしさも味わいました。

した。川戸さんは笑顔で『このランチを食べると5年は長生きする』と話されました。
おばちゃん達の愛情のこもった、こだわりのランチをこの大自然を眺めながら食べると本当に長生きが出来るような気がします。
皆さんも一度、召し上がってみられては?長生きしますよ。
なお、営業期間は、4月から11月までです。
取材 金羽 廣明委員



写真左から、小倉明美さん・川戸和子さん・井ノ本和江さん



おばaちゃんのイラストでお出迎え



優美な日本海を望みながら食事ができます

・薬師如来坐像及び両脇立日光・月光菩薩像三軀（正面）



本尊の薬師如来坐像、脇侍の日光・月光両菩薩立像は、国の重要文化財に指定されており、穏やかな

京丹後紀行

円頓寺の仏像たち

久美浜町「円頓寺」は、弥栄町等楽寺や網野町仲禅寺、丹後町願興寺などと同様、寺の名に由来する地名である。

大治山円頓寺には、磨呂子親王の鬼退治に関する丹後七仏薬師の一ヶ寺とする伝承がある。山号の「大治山」は、かつてこの地域を大治村と称していたことからきているものと思われる。ものの本によれば、「円頓」とは、天台宗の教義に用いられる言葉で、現にあるがままの心に功德が円満にそなわり、すみやかに成仏するという考えを表している。寺名の「円頓」から考えると天台宗ゆかりの寺のように思われるかもしれないが、「円頓寺」は、真言宗の寺である。

表情の中にも気品と気高さが漂う三尊像である。薬師如来も素晴らしいが、私的には、脇侍の日光・月光両菩薩に、より魅かれるものを感じる。庶民の薬師信仰の拡がりとともに、隆盛時には三十六坊を有する大伽藍を誇っていたが、数度の火災により衰微し、わずかに残った一坊が現在の円頓寺だと伝わる。現在の集落は、かつて門前町として栄えていたであろう往時を偲ぶがすがもないが、わずかな戸数ながらも由緒ある寺を守っておられる。

守るといえば、山門（仁王門）には、鎌倉時代の作といわれる仁王（金剛力士）像が、左右にどっしりと構え、寺を守っている。先日この地を訪れたところ、仁王門の茅葺屋根が、金属板で覆われていて、「これも時代だな。」と感じた次第。

ところで、この山門と仁王像、もともとは、久美浜町浦明にあった日光寺のものを移したといわれており、このことについては面白い話が残っている。ある時、円頓寺と日光寺の和尚が法論をしたところ、円頓寺の和尚に軍配が上がった。そこで、「寺を乗っ取られる。」と慌てた日光寺の和尚が、仁王像を差し出したのだが、一夜にして山門までもが円頓寺に移ったのだそう。

もしかしたら、住まいがなくなると困ると思った仁王さん達が、金剛力で山門を担いでいったのかもしれない。そんな空想をしてみるのもまた楽しい紀行なのである。

文／鴨田 忠司

懐かしきーコマ

昭和45、6年頃の米価下落阻止大会の様子です。

弥栄町の米農家が団結し、多くのトラクターで集まり農協前に集結しました。（写真提供 山副 孝雄委員）



収穫体験

弥栄こども園



春に田植えをした稲が見事に育ち、10月9日に園児たちによる稲刈りが行われました。ハサミを使っての刈り取りで、園児たちは縦横無尽に刈り進み楽しい汗をかいていました。
また、11月12日には稲木干しをした稲の脱穀を行い、収穫の喜びを感じていました。自分たちで作業をしたお米は美味しいでしょうね！

写真提供 弥栄こども園
山副 孝雄 委員

▲終わった～！みんな頑張りました

弥栄・丹後秋の祭典

11月8日に開催された「2015 弥栄・丹後秋の祭典」は、両町が統一で行うようになり3年目になりました。当日はあいにくの雨となりましたが、ステージではよさこい演舞やフラダンス・溝谷太鼓の和太鼓パフォーマンス等々が披露されると共に、豪華景品が当たる餅まき大会も行われました。また会場内では、もやい汁（漁師の船上めし）やつきたての餅が振る舞われるとともに、地元で採れた新鮮な野菜の販売や松茸ごはん・きやあ餅など多数のお店が並びいっぱいのお客さんで賑わっていました。



多くの人が参加した餅まき大会



華を添えたフラダンス

地元に採れた新鮮な野菜の販売や松茸ごはん・きやあ餅など多数のお店が並びいっぱいのお客さんで賑わっていました。



〔長寿ランチの一例〕

レストラン 新城 (京丹後市丹波町北成994)

- ・ 青菜のゴマ和え・ずいきの煮物・羅漢和え・人参、大根の白和え
- ・ ハタハタの南蛮漬け ・ くもじ(野菜の一夜漬け)
- ・ はばご飯
- ・ けんちん汁

この近くには、長寿世界一の木村次郎右衛門さんも住んでおられました。

レストランでは、「食を通じて元気で長生きを」ということで、食材の調達には、地元産の野菜、山の幸、日本海の新鮮な魚。そしてお米は勿論、丹後のコシヒカリ。四季折々の食材を使って、優しい味の長寿ランチとしてお客様にお出ししています。



川瀬 明美 委員

長寿の秘訣が「食」にあること。特定の食材があるのではなく、厳しい自然で育った、海・山・里からの恵を大切に、親から子へと受け継がれて来た味付けを活かし、規則正しく腹八分目。よく噛む。三食がさがさず食事することが大切だと思います。

野菜や豆類、魚類は干物にし、保存方法や調理法を活用した食事を無駄なくそれぞれの食材を大切にして来ました。

しかし、生活様式の変化で、規則正しく食事をとらない人が増えているのも否めません。

食べ物を大切にしない最近の風潮も気がかりです。偏食やサプリメントで栄養補給している育ち盛りの学生さんも考えてほしいものです。

子供の時に「食べ物を粗末にすると罰が当たる」と言われて育った我々、いま一度、食の大切さを考えてほしい。

たった一度の人生、悔い無く生きたい。誰もの願望。生きている間は健康で人に迷惑をかけぬよう生活したい。程々に美味しいものを食べ、程々に元気でボケることなく、生涯を終えられたら……



レストラン 新城
川戸 和子 さん
(此代)

京丹後市は、健康長寿の街として力を入れておられます。

農業者年金に加入しましょう

私たちも入ってます。

- ① 農業従事者なら広く加入できます
(60歳未満、国民年金1号被保険者、60日以上従事)
- ② 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます
(月2万円～6万7千円の間で千円単位)
- ③ 税制面で大きな優遇措置があります
(保険料は全額社会保険料控除の対象になります)
- ④ 積立方式、⑤ 終身年金、⑥ 保険料の国庫補助(要件有)



網野町浜詰 山野賢一 郎さん 愛さん 夫婦